

科目名	情報リテラシー実践I		基礎科目群	単位数	2	特別申請科目
担当教員		前期				
科目ナンバリング 2018年度以降入学生対象	GAB-101-1：全学共通科目					
授業方針・テーマ	<p>基本的な情報の活用に加えて、表計算ソフトを利用した基礎的な統計分析やプログラミングに取り組む。</p>					
習得できる知識・能力や 授業の目的・到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータの使い方を理解し、具体的な課題解決の場面において、情報を収集、分析、判断、編集、発信、共有することができる（幅広い教養としての知識・理解、情報活用能力） ・統計学の基礎を理解し、表計算ソフトによるデータ分析に取り組むことができる（専門分野の基本的な知識・理解及び技術） ・プログラム言語の基本的な文法を理解し、プログラムの作成と読解ができるようになる（幅広い教養としての知識・理解、論理的思考力） ・情報化社会の特徴を理解し、情報セキュリティ、情報モラル・ルールとマナー、ソーシャルメディア、著作権・肖像権侵害、ネット犯罪の観点からインターネット上での問題に対処する方法を考えることができる（倫理観、社会的責任の自覚） 					
授業計画・内容 授業方法	<p>初回以前に、情報倫理講習のオンライン受講（ビデオの視聴、チェックテストの回答）に取り組むこと（詳細は別途、書面およびウェブサイトにて案内予定）。</p> <p>【基本】4回程度</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 情報倫理講習、授業ガイダンス（情報処理教室の使い方、教育システムの紹介、kibacoの利用方法）、レディネス調査 2. ローカルシステムの構成と利用（ファイル・フォルダの管理と操作、電子メールの送受信）、情リテ情報倫理テスト 3. 表計算ソフトによるデータ処理（表の行と列、データの入力、セルの調整、数式処理、オートフィル） 4. 表計算ソフトによるデータ処理（関数、絶対参照と相対参照、グラフの作成、ソート、フィルタ） <p>【統計】6回程度</p> <ol style="list-style-type: none"> 5. 統計学についての基礎知識（データの種類、基本統計量、度数分布、ヒストグラムなど） 6. 母集団と標本（平均・分散の推定、正規分布など） 7. 平均値の差の検定(1)（対応のあるデータ） 8. 平均値の差の検定(2)（対応のないデータ） 9. 相関分析 10. まとめ（【統計】のふり返し） <p>【プログラミング】5回程度</p> <ol style="list-style-type: none"> 11. VBAプログラミング(1)（マクロの基礎、表の構造） 12. VBAプログラミング(2)（変数の定義、データ型と型変換） 13. VBAプログラミング(3)（条件文） 14. VBAプログラミング(4)（繰り返し文） 15. まとめ（【プログラミング】のふり返し） 					
授業外学習	<ul style="list-style-type: none"> ・eラーニングシステム「kibaco」上のコースウェアや動画コンテンツ、担当教員が公開する資料などを用いて、予習や復習、課題への取り組みを十分に行うこと。 - kibacoの「動画再生」より、動画コンテンツ「Microsoft 365 メール使用方法」「図書館とデータベースの利用方法」「SNS利用によるトラブルを防ぐために」を視聴すること。 - kibacoの「コースウェア」の自習用コンテンツを利用し、情報検索、文書編集、プレゼンテーションなどについて自習すること。 ・kibacoの「メッセージ」や「掲示板」などを活用する場合もあるため、以下のウェブサイトより「kibaco利用ガイド」を確認すること。 <p><https://e-learning.cpark.tmu.ac.jp/e-learning/ja/guide/kibaco_guide.html></p>					

科目名	情報リテラシー実践I		基礎科目群	単位数	2	特別申請科目
担当教員		前期				
科目ナンバリング 2018年度以降入学生対象	GAB-101-1：全学共通科目					
テキスト・参考書等	eラーニングシステム「kibaco」上に、コースウェアおよび各種動画コンテンツを設置する。 クラスによっては担当教員から別途、指示される場合がある。					
成績評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・授業への積極的な参加、【基本】【統計】【プログラミング】で提示される課題や発表、情リテ情報倫理テスト、各種確認テストなどの観点に基づき、総合的に評価する（担当教員により若干異なる場合がある） ・課題や発表については、ICTを活用した課題解決、表計算ソフトによるデータ分析、プログラミングに主体的に取り組んでいるかどうかを評価する（幅広い教養としての知識・理解、情報活用能力、専門分野の基本的な知識・理解及び技術） ・情リテ情報倫理テストでは、一般的な情報倫理に加えて、本学の情報環境に関する利用方法を理解できているかを確認する（倫理観、社会的責任の自覚） ・各種確認テストでは、ソフトウェアの基本的な操作および利用方法を理解しているかを確認する（情報活用能力） <p>なお、正当な理由なく4回以上欠席した場合は、原則として不合格とする。</p>					
質問受付方法 (オフィスアワー等)	<ul style="list-style-type: none"> ・担当教員により異なるため、授業ガイダンスの際に提示する。 ・本授業に関する最新情報は、以下のウェブサイトを確認すること。 東京都立大学 情報リテラシー実践 授業案内 <https://lit.fpark.tmu.ac.jp/> 					
特記事項 (他の授業科目との関連性)	<ul style="list-style-type: none"> ・「情報倫理講習」を受講しない場合、原則として授業に参加できなくなるため注意すること。 ・関連する授業科目として、後期に「情報リテラシー実践 A」（統計学の基礎とデータ分析）、「情報リテラシー実践 B」（プログラミング）、「情報リテラシー実践 C」（画像・音・映像等の処理）を提供している。 					